

# ESG経営

## 積水ハウスグループのESG経営

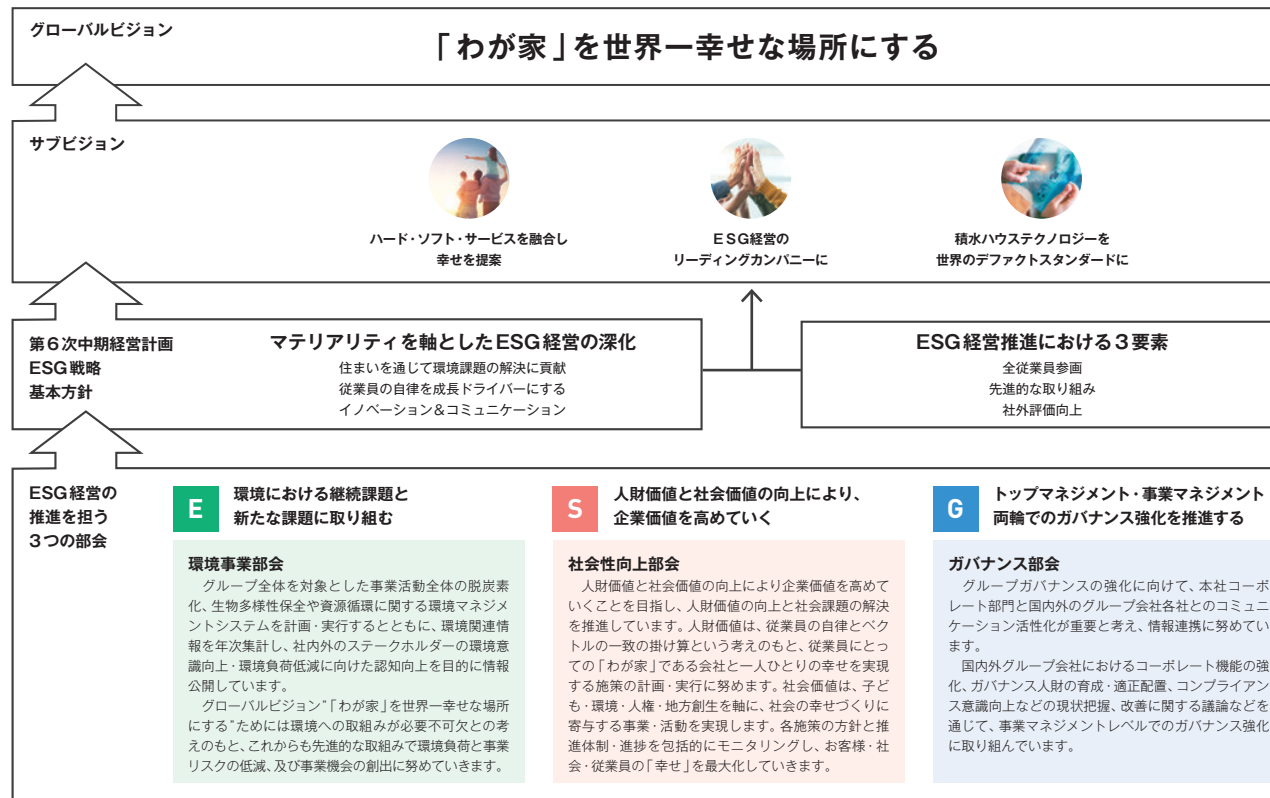
積水ハウスグループのESG経営は、企業理念の根本哲学である「人間愛」を実践することが根底にあります。お客様や社会が直面する課題解決を事業と一体的に推進していくとともに、ガバナンスの強化に努めることで、ESG経営の領域においてさらなるリーダーシップを発揮することを目指し、「ESG経営のリーディングカンパニーに」というサブビジョンを策定しています。

その実現に向け、従業員一人ひとりが自ら考え、行動することが重要であると考え、2020年より、全従業員参画を重視したESG経営に取り組んでいます。参画のきっかけとして、対話を通じてお互いの考えや価値観に触れ、ESGに対する理解を深めてきました。また、従業員が主体的に行動に移すことができるよう、自律や創発につながる制度の構築や職場風土の醸成に努めています。

→ P.41 未来への約束

## ESG経営の基本方針

第6次中期経営計画（2023年度～2025年度）におけるESG経営の基本方針を「マテリアリティを軸としたESG経営の深化」と掲げ、「住まいを通じて環境課題の解決に貢献」「従業員の自律を成長ドライバーにする」「イノベーション＆コミュニケーション」に重点を置いた取り組みを推進しています。ESG経営の推進を担う環境、社会、ガバナンスの3つの部会では、第6次中期経営計画に基づいた方針を定め、取り組みを加速するとともに、さまざまなステークホルダーとの積極的なエンゲージメントを図り、さらなる信頼の獲得と企業価値の向上に努めています。



→ P.121 環境

→ P.94 人的資本  
→ P.177 社会

→ P.207 ガバナンス

## ESG経営

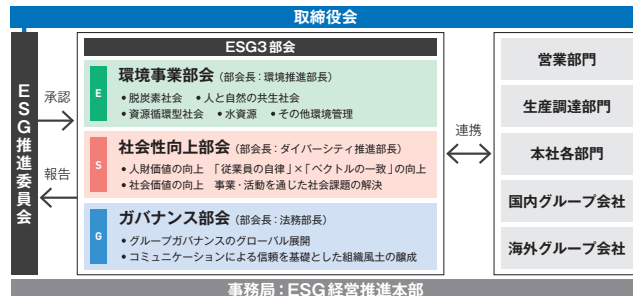
### 推進体制

ESG経営の推進を担う3つの部会「環境事業部会」「社会性向上部会」「ガバナンス部会」を設置し、部会長には職責者を任命。各部会では、マテリアリティに紐づく取り組みやKPIの設定とモニタリングを継続的に実施するとともに、各部門・国内外のグループ会社と連携しながら、ESG経営の推進を先導しています。施策の進捗管理や、その過程で認識した課題とその改善策については、ESG推進委員会を含む会議体において報告を行い、フィードバックをもとに全従業員の理解・浸透を図っています。

### 執行体制

代表取締役 副会長執行役員が積水ハウスグループ全体のESG活動の責任を担っています。また、専務執行役員が当社グループのESG活動を推進し、2020年6月に設置したESG経営推進本部を通じてESG経営に関する基本方針の企画・立案および推進に関する事項を掌握し、全社的な取り組みの推進、情報の収集と分析、社内外への情報発信を通じたESG経営のさらなる推進に取り組んでいます。

### ESG経営推進体制図



## 1. ガバナンス

取締役会の諮問機関として、専門的な知見を有する2名以上の社外委員を含む「ESG推進委員会」(委員長: 代表取締役 副会長執行役員)を設置し、ESG経営の活動・進捗報告、および課題などについての議論を実施し、当社グループ全体のESG経営の実効性を高めています。また、3ヵ月毎に開催されるESG推進委員会の内容は取締役会へ報告・審議され、イントラネットを通じて全従業員にも共有されています。

### ESG推進委員会

委員長	ESG部門担当役員 堀内 容介(代表取締役 副会長執行役員)
社外委員	國部 克彦 氏(神戸大学大学院 経営学研究科長・教授) 富田 秀実 氏(一般社団法人サステナビリティ経営研究所 代表理事)
社内委員	ESG経営推進本部長・3部会長、副部会長など

※取締役・監査役・常務執行役員以上はオブザーバーとして出席

### ESG推進委員会における2023年度の主な議題

第13回 2023年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TNFDへの対応</li> <li>• 人的資本</li> <li>• 人財価値プロジェクトの進捗</li> <li>• 「従業員の自律」のための諸施策</li> </ul>
第14回 2023年7月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゼロ・デフォレステーションの推進と「木材調達ガイドライン」の改定</li> <li>• 改正障がい者差別解消法の対応</li> <li>• 「キッズ・ファースト」の取り組み</li> <li>• ESG対話の拡張施策</li> <li>• 第2回「SHIP」最終審査会結果と第3回「SHIP」開催について</li> </ul>
第15回 2023年10月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ESG推進委員会規則の改正</li> <li>• 人的資本の開示項目検討</li> <li>• 地方創生事業(PRE)について</li> <li>• 「積水ハウスマッチングプログラム」新制度について</li> <li>• 積水ハウス建設グループの組織再編</li> <li>• サークュラーエコノミーの動向・課題</li> </ul>
第16回 2024年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ESG3部会の2024年度方針</li> <li>• 地方創生事業(家づくり職人の育成と雇用の創出)について</li> <li>• 第3回「SHIP」応募状況・審査方法・審査員について</li> <li>• ESG対話の2024年度方針</li> <li>• マテリアリティの確認</li> <li>• 「VALUE REPORT 2024」編集方針</li> <li>• ESG評価向上の取り組み</li> </ul>

## 2. 戦略

外部環境の変化に伴うリスク・機会を分析し、「良質な住宅ストックの形成」「持続可能な社会の実現」「ダイバーシティ&インクルージョン」という3つのマテリアリティを軸に、第6次中期経営計画においてそれぞれKPIを設定し、取り組みを推進しています。

→ P.43 マテリアリティ

## 3. リスク管理

積水ハウスグループに影響をもたらす中長期の課題を分析し、リスク要因を洗い出すとともに、リスクを将来の事業創出の機会と位置づけ、中長期の事業戦略立案につなげています。ESG経営の取り組みの進捗と課題については、取締役会の諮問機関であるESG推進委員会において検討後、取締役会に報告し、取締役会はESG推進委員会からの報告を受け、当社グループのサステナビリティに関する対応等についての審議・監督を実施しています。さらに、主要なリスクに関する内容については、リスク管理委員会がグループ全体のリスク管理体制の中で検討・管理しています。

## 4. 指標及び目標

第6次中期経営計画において、マテリアリティの実現へ向けたKPIを54個設定しています。

→ P.57-60 指標と進捗

→ P.235 指標と進捗